

1. 入港船舶

入港船舶数は31,052隻(前年比99.6%)・総トン数は6,166万総トン(同102.9%)であった。これを外内航別に見ると、外航は隻数5,148隻(同104.1%)・総トン数4,360万総トン(同102.2%)、内航は隻数25,904隻(同98.7%)・総トン数1,806万総トン(同104.4%)であった。(図-1、表-1参照)

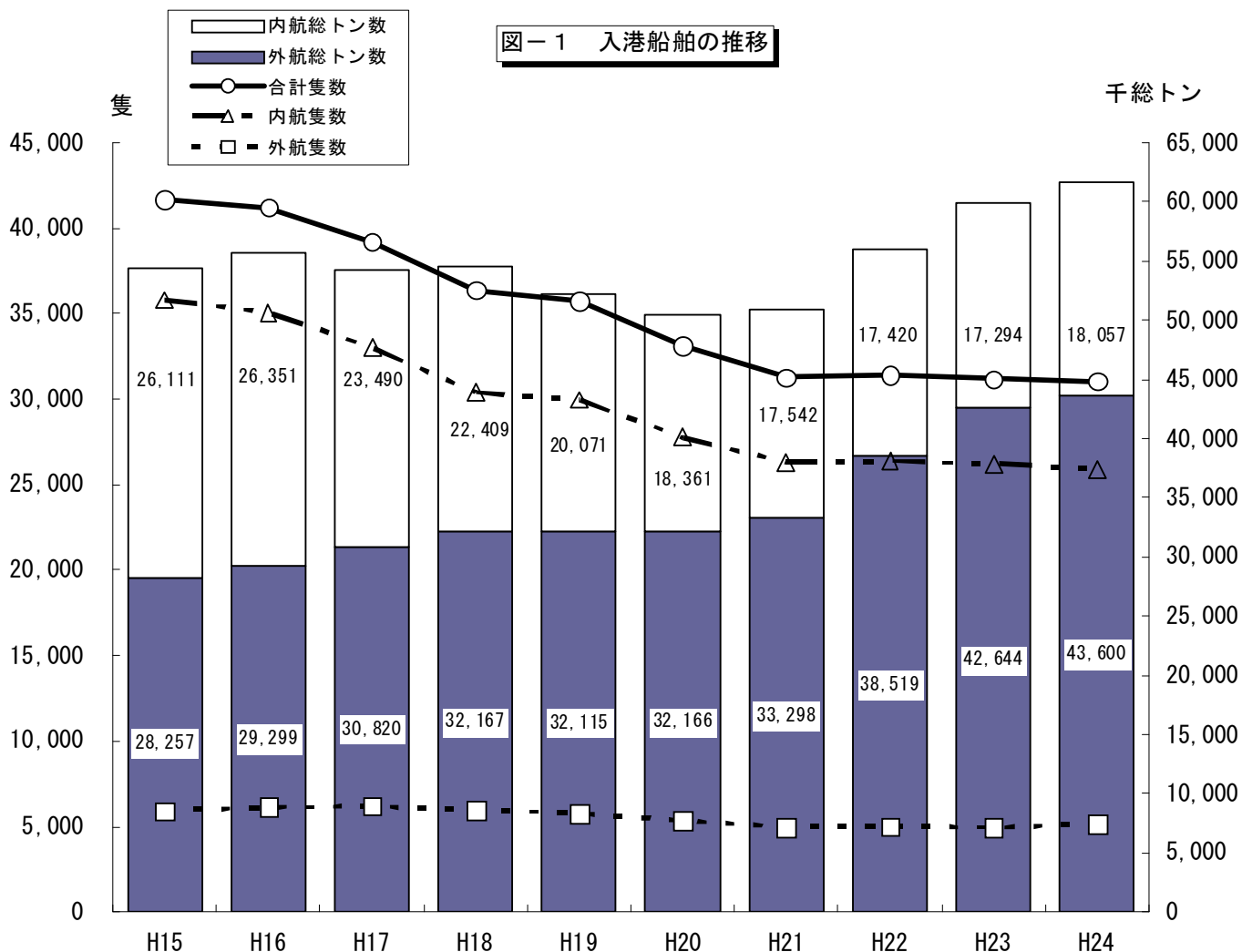


表-1 入港船舶の推移

(単位：隻、総トン)

区分	平成20年	平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
	数量	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
外航 隻数	5,345	4,958	92.8%	5,018	101.2%	4,943	98.5%	5,148	104.1%
外航 総トン数	32,165,936	33,297,945	103.5%	38,518,570	115.7%	42,644,113	110.7%	43,600,490	102.2%
内航 隻数	27,763	26,319	94.8%	26,375	100.2%	26,234	99.5%	25,904	98.7%
内航 総トン数	18,360,835	17,541,738	95.5%	17,419,558	99.3%	17,294,385	99.3%	18,056,661	104.4%
総 隻数	33,108	31,277	94.5%	31,393	100.4%	31,177	99.3%	31,052	99.6%
総 総トン数	50,526,771	50,839,683	100.6%	55,938,128	110.0%	59,938,498	107.2%	61,657,151	102.9%

2. 海上出入貨物

海上出入貨物量は、外国貿易 1,830 万トン(前年比 99.2%)、内国貿易 1,406 万トン(同 106.1%)であり、総貨物量は 3,235 万トン(同 102.1%)であった。出入別の割合及びその貨物量を見ると、輸移出は 33.4%・1,081 万トン、輸移入は 66.6%・2,154 万トンとなっており、博多港が輸移入中心の港湾であることを示している。(図-2、表-2、表-3 参照)

図-2 海上出入貨物量の推移

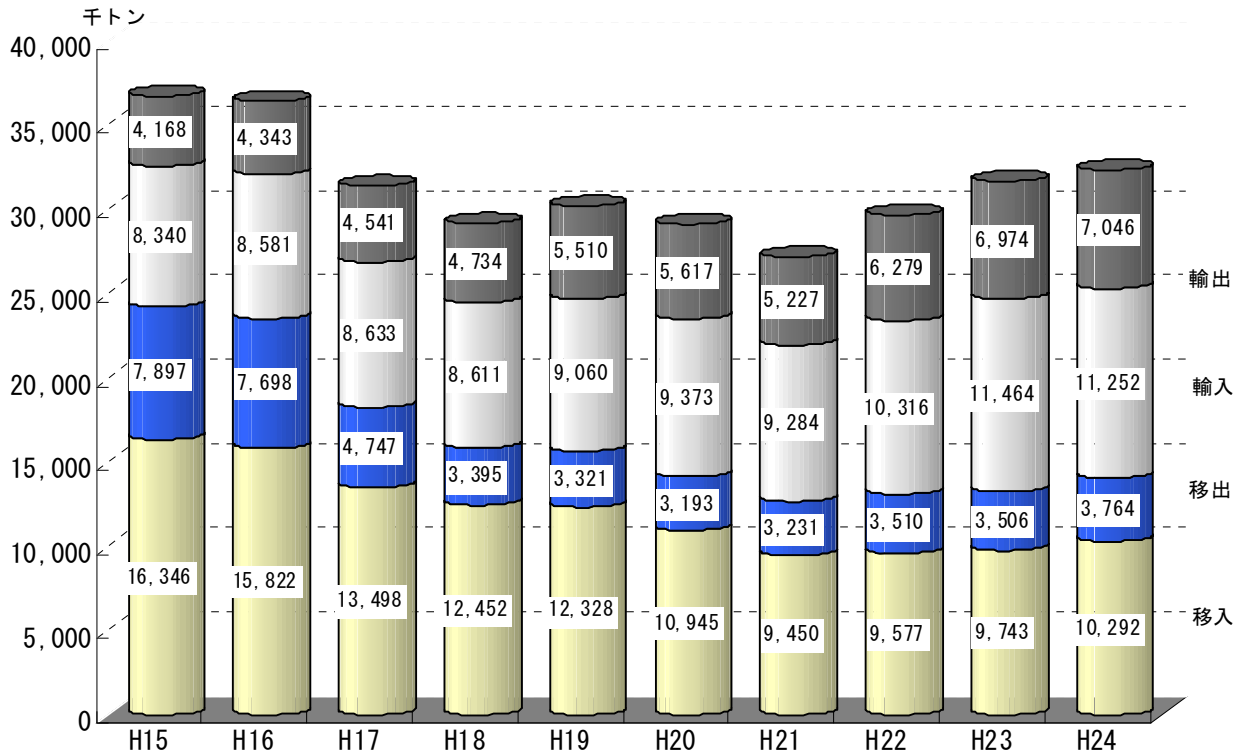


表-2 海上出入貨物量の推移

(単位: トン)

区分	平成20年	平成21年		平成22年		平成23年		平成24年		
	数量	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
外国貿易	輸出	5,616,927	5,226,504	93.0%	6,278,546	120.1%	6,973,951	111.1%	7,046,473	101.0%
	輸入	9,373,026	9,283,502	99.0%	10,316,339	111.1%	11,464,392	111.1%	11,251,626	98.1%
	計	14,989,953	14,510,006	96.8%	16,594,885	114.4%	18,438,343	111.1%	18,298,099	99.2%
内国貿易	移出	3,192,656	3,230,667	101.2%	3,509,562	108.6%	3,506,250	99.9%	3,763,569	107.3%
	移入	10,944,944	9,450,175	86.3%	9,576,798	101.3%	9,743,069	101.7%	10,292,461	105.6%
	計	14,137,600	12,680,842	89.7%	13,086,360	103.2%	13,249,319	101.2%	14,056,030	106.1%
総数	輸移出	8,809,583	8,457,171	96.0%	9,788,108	115.7%	10,480,201	107.1%	10,810,042	103.1%
	輸移入	20,317,970	18,733,677	92.2%	19,893,137	106.2%	21,207,461	106.6%	21,544,087	101.6%
	計	29,127,553	27,190,848	93.4%	29,681,245	109.2%	31,687,662	106.8%	32,354,129	102.1%

※フェリー(自動車航送船)による航送車両トン数は含まない。

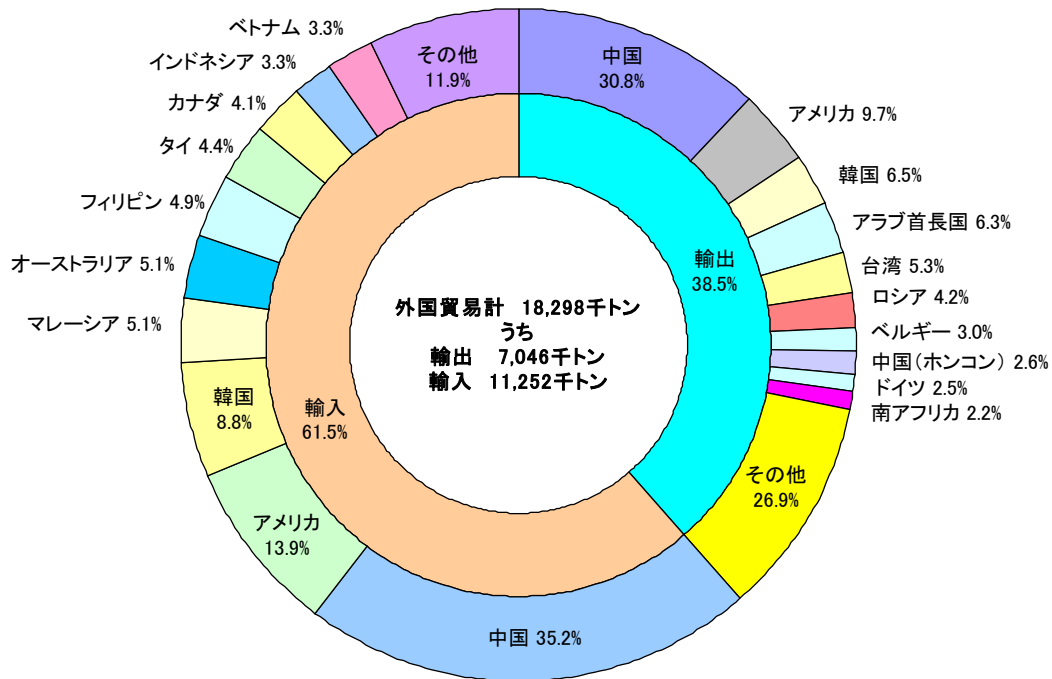
表-3 フェリー(自動車航送船)による航送車両トン数の推移

(単位: トン)

区分	平成20年	平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
	数量	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
移出	985,265	919,185	93.3%	959,205	104.4%	911,615	95.0%	867,675	95.2%
移入	1,018,275	972,250	95.5%	1,001,800	103.0%	944,785	94.3%	882,285	93.4%
計	2,003,540	1,891,435	94.4%	1,961,005	103.7%	1,856,400	94.7%	1,749,960	94.3%

2-1. 外国貿易

図-3 外国貿易(輸出入相手国・地域別)



2-1-1. 輸出

(1)貨物量

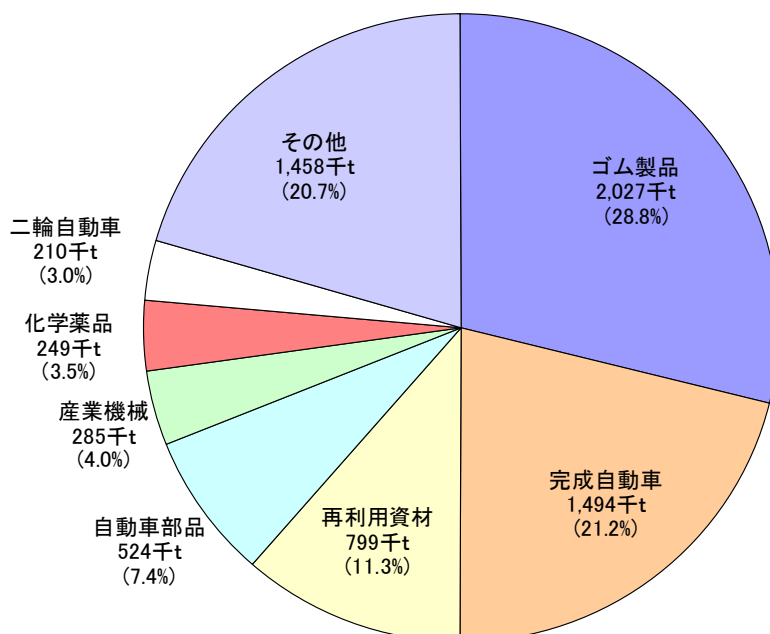
輸出貨物量は7,046千トン(前年比 101.0%)であり、外国貿易の38.5%を占めている。

〈図-3、表-2 参照〉

(2)品種別

輸出貨物量7,046千トンのうち「ゴム製品」が2,027千トン(構成比 28.8%)、「完成自動車」が1,494千トン(同 21.2%)、「再利用資材」が799千トン(同 11.3%)であった。〈図-4・5、表-4 参照〉

図-4 輸出 7,046千トン

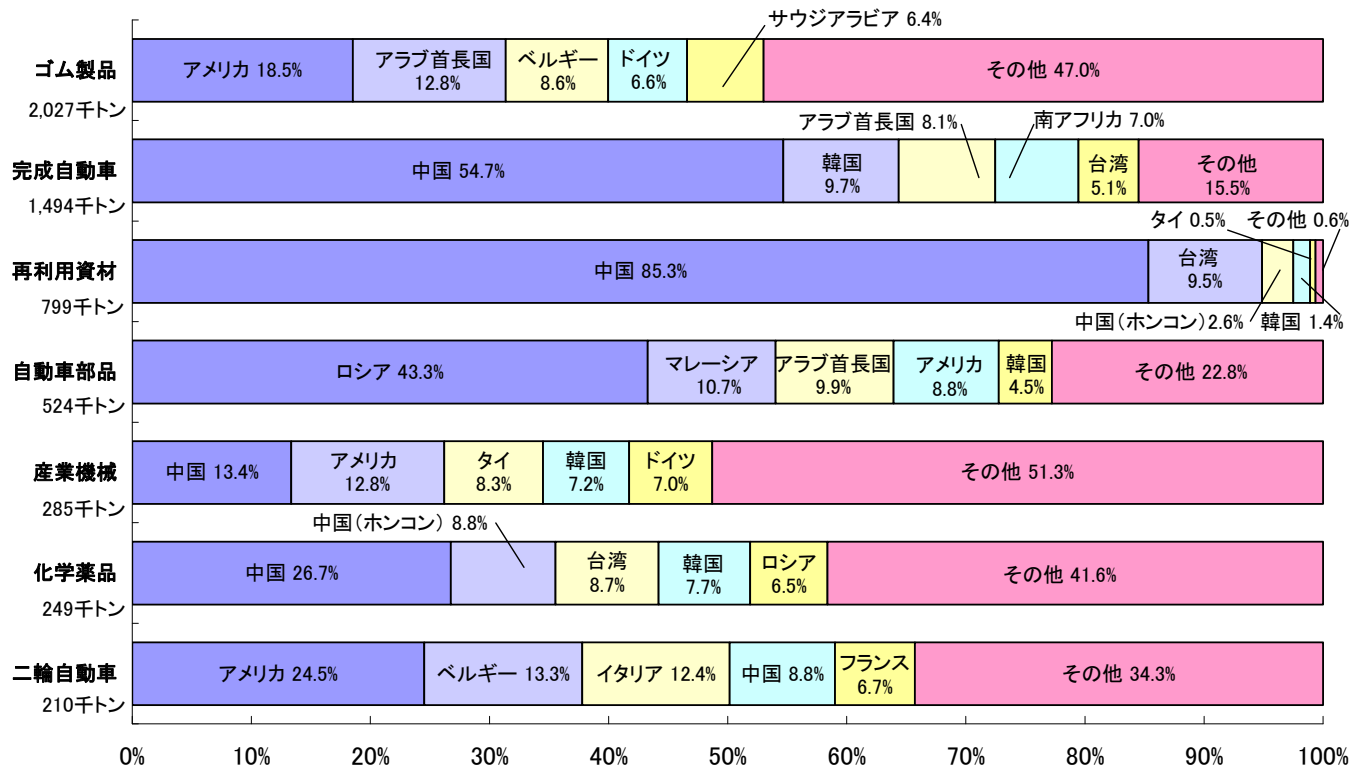


表－4 輸出 品種別取扱量（上位7品種）

（単位：トン）

順位	品 種	平成24年	構成比	平成23年	構成比	同期増減	同期比
1	ゴム製品	2,027,464	28.8%	2,315,503	33.2%	▲ 288,039	87.6%
2	完成自動車	1,494,284	21.2%	1,254,882	18.0%	239,402	119.1%
3	再利用資材	798,723	11.3%	737,535	10.6%	61,188	108.3%
4	自動車部品	524,477	7.4%	523,148	7.5%	1,329	100.3%
5	産業機械	284,785	4.0%	345,298	5.0%	▲ 60,513	82.5%
6	化学薬品	249,184	3.5%	196,488	2.8%	52,696	126.8%
7	二輪自動車	209,511	3.0%	216,844	3.1%	▲ 7,333	96.6%
	上記以外その他	1,458,045	20.7%	1,384,253	19.8%	73,792	105.3%
	合 計	7,046,473	100.0%	6,973,951	100.0%	72,522	101.0%

図－5 輸出上位7品種の相手国・地域



(3)主要国・地域別

輸出相手国・地域別では、中国が2,173千トン(構成比30.8%)、アメリカが683千トン(同9.7%)、韓国が455千トン(同6.5%)、以下アラブ首長国、台湾と続いている。(図－3、表－5参照)

表－５ 輸出国・地域別取扱量（上位10ヵ国・地域）

（単位：トン）

順位	最終船卸国・地域名	平成24年	構成比	平成23年	構成比	増減	前年比
1	中国	2,173,314	30.8%	1,902,065	27.3%	271,249	114.3%
2	アメリカ	682,980	9.7%	734,700	10.5%	▲ 51,720	93.0%
3	韓国	454,933	6.5%	440,296	6.3%	14,637	103.3%
4	アラブ首長国	447,354	6.3%	409,188	5.9%	38,166	109.3%
5	台湾	373,978	5.3%	345,649	5.0%	28,329	108.2%
6	ロシア	296,792	4.2%	322,317	4.6%	▲ 25,525	92.1%
7	ベルギー	210,558	3.0%	251,271	3.6%	▲ 40,713	83.8%
8	中国（ホンコン）	182,009	2.6%	212,741	3.1%	▲ 30,732	85.6%
9	ドイツ	172,771	2.5%	253,730	3.6%	▲ 80,959	68.1%
10	南アフリカ	156,668	2.2%	160,091	2.3%	▲ 3,423	97.9%
	上記以外その他	1,895,116	26.9%	1,941,903	27.8%	▲ 46,787	97.6%
	合計	7,046,473	100.0%	6,973,951	100.0%	72,522	101.0%

2-1-2. 輸入

(1)貨物量

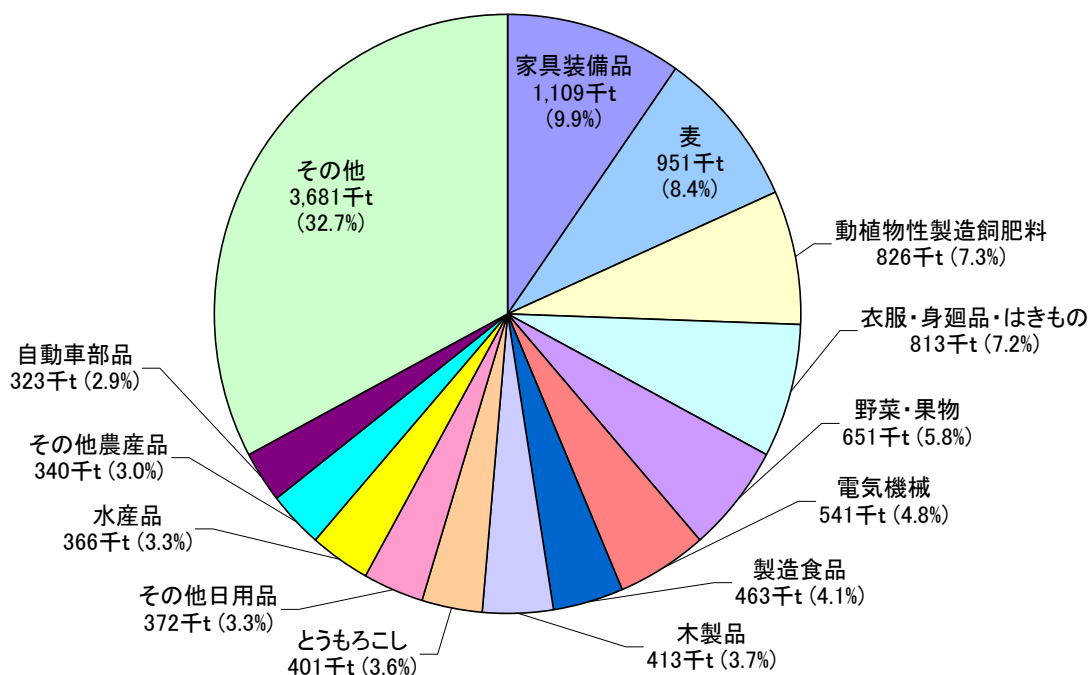
輸入貨物量は11,252千トン（前年比98.1%）であり、外国貿易の61.5%を占めている。

（図－3、表－2 参照）

(2)品種別

輸入貨物量11,252千トンのうち「家具装備品」が1,109千トン（構成比9.9%）、「麦」が951千トン（同8.4%）、「動植物性製造飼肥料」が826千トン（同7.3%）であった。（図－6・7、表－6 参照）

図－6 輸入 11,252千トン

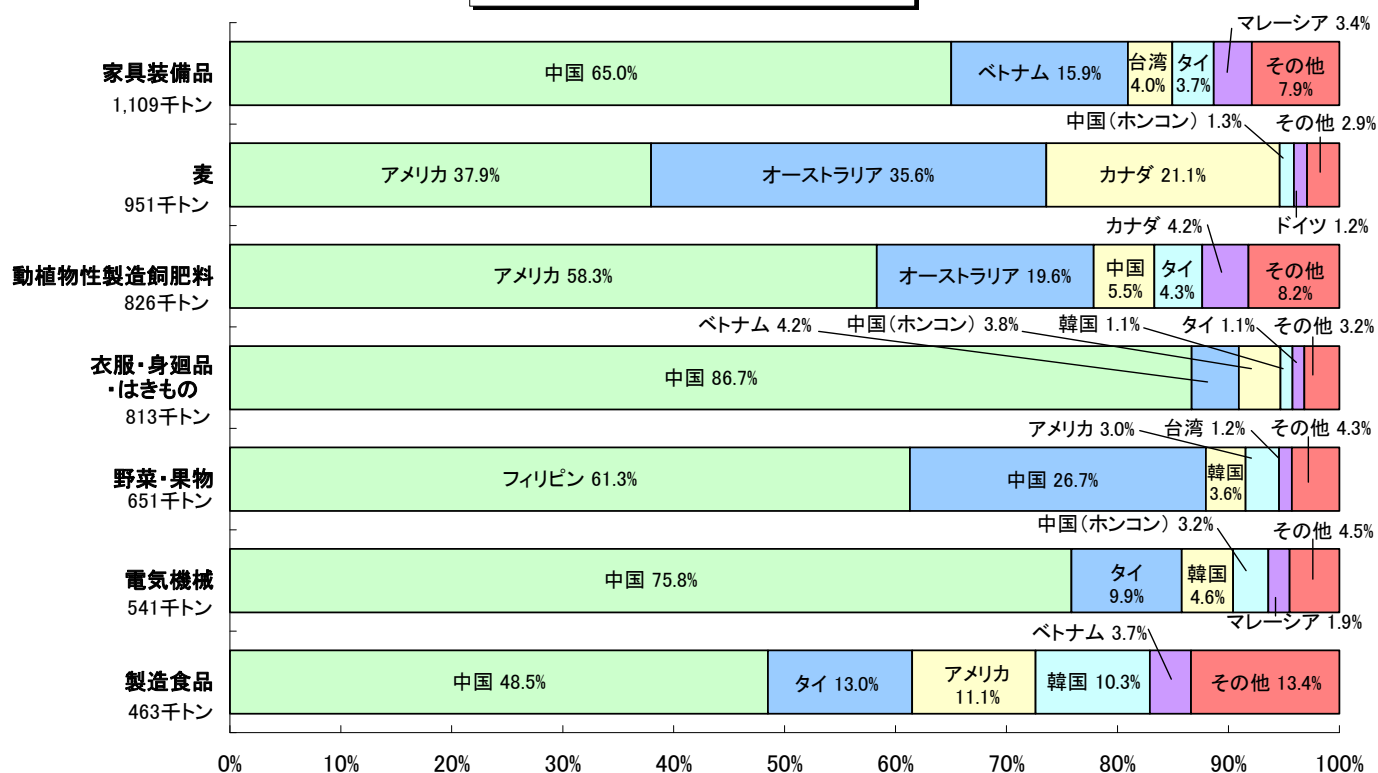


表－6 輸入 品種別取扱量（上位7品種）

（単位：トン）

順位	品 種	平成24年	構成比	平成23年	構成比	増減	前年比
1	家具装備品	1,109,329	9.9%	1,164,383	10.2%	▲ 55,054	95.3%
2	麦	950,579	8.4%	1,001,629	8.7%	▲ 51,050	94.9%
3	動植物性製造飼肥料	826,398	7.3%	937,600	8.2%	▲ 111,202	88.1%
4	衣服・身廻品・はきもの	812,954	7.2%	744,946	6.5%	68,008	109.1%
5	野菜・果物	651,473	5.8%	607,105	5.3%	44,368	107.3%
6	電気機械	541,183	4.8%	530,248	4.6%	10,935	102.1%
7	製造食品	462,993	4.1%	439,130	3.8%	23,863	105.4%
	上記以外その他	5,896,717	52.4%	6,039,351	52.7%	▲ 142,634	97.6%
	合 計	11,251,626	100.0%	11,464,392	100.0%	▲ 212,766	98.1%

図－7 輸入上位7品種の相手国・地域



(3)主要国・地域別

輸入相手国・地域別では、中国が3,965千トン（構成比 35.2%）、アメリカが1,565千トン（同 13.9%）、韓国が986千トン（同 8.8%）、以下マレーシア、オーストラリアと続いている。（図－3、表－7 参照）

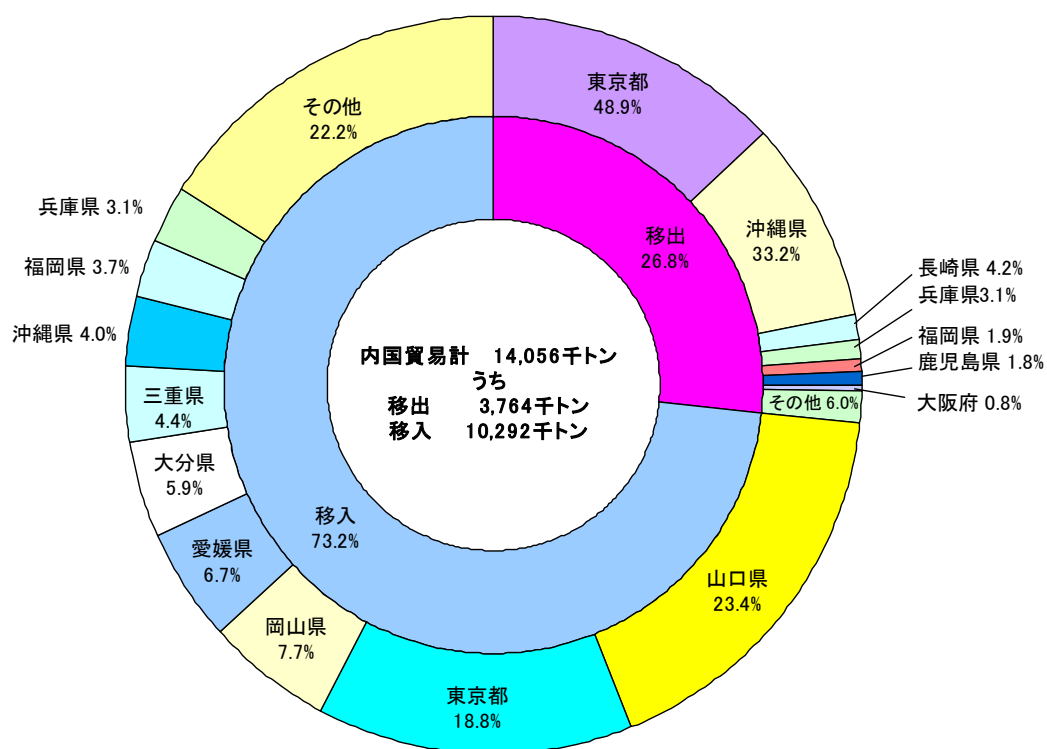
表-7 輸入 国・地域別取扱量（上位10カ国・地域）

（単位：トン）

順位	最初船積国・地域名	平成24年	構成比	平成23年	構成比	増減	前年比
1	中国	3,965,176	35.2%	3,696,961	32.2%	268,215	107.3%
2	アメリカ	1,564,598	13.9%	1,814,614	15.8%	▲ 250,016	86.2%
3	韓国	986,127	8.8%	967,582	8.4%	18,545	101.9%
4	マレーシア	575,935	5.1%	603,250	5.3%	▲ 27,315	95.5%
5	オーストラリア	570,591	5.1%	623,171	5.4%	▲ 52,580	91.6%
6	フィリピン	556,268	4.9%	528,665	4.6%	27,603	105.2%
7	タイ	489,518	4.4%	513,583	4.5%	▲ 24,065	95.3%
8	カナダ	464,137	4.1%	443,229	3.9%	20,908	104.7%
9	インドネシア	373,376	3.3%	376,906	3.3%	▲ 3,530	99.1%
10	ベトナム	371,961	3.3%	349,680	3.1%	22,281	106.4%
	上記以外その他	1,333,939	11.9%	1,546,751	13.5%	▲ 212,812	86.2%
	合 計	11,251,626	100.0%	11,464,392	100.0%	▲ 212,766	98.1%

2-2. 内国貿易

図-8 内国貿易(移出相手都道府県別)



※ 図-8・10・12及び表-9・11については、仕出・仕向港都道府県に基づく集計である。

2-2-1. 移出

(1)貨物量

移出貨物量は3,764千トン(前年比 107.3%)であり、内国貿易の26.8%を占めている。

〈表-2、図-8 参照〉

(2)品種別

移出貨物量3,764千トンのうち「その他輸送機械」が732千トン(構成比 19.4%)、「取合せ品」が638千トン(同 17.0%)、「完成自動車」が619千トン(同 16.4%)であった。〈図-9・10、表-8 参照〉

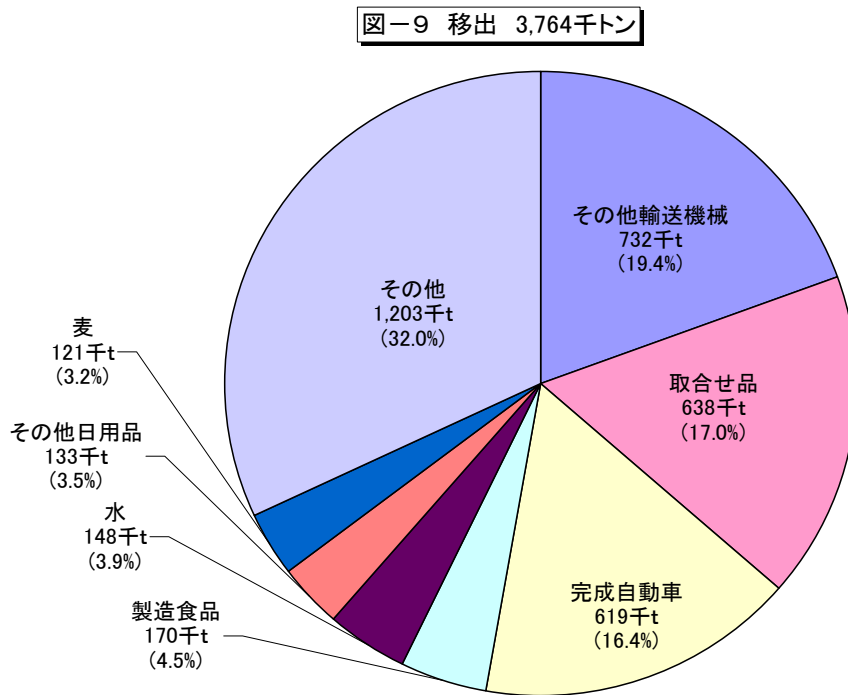
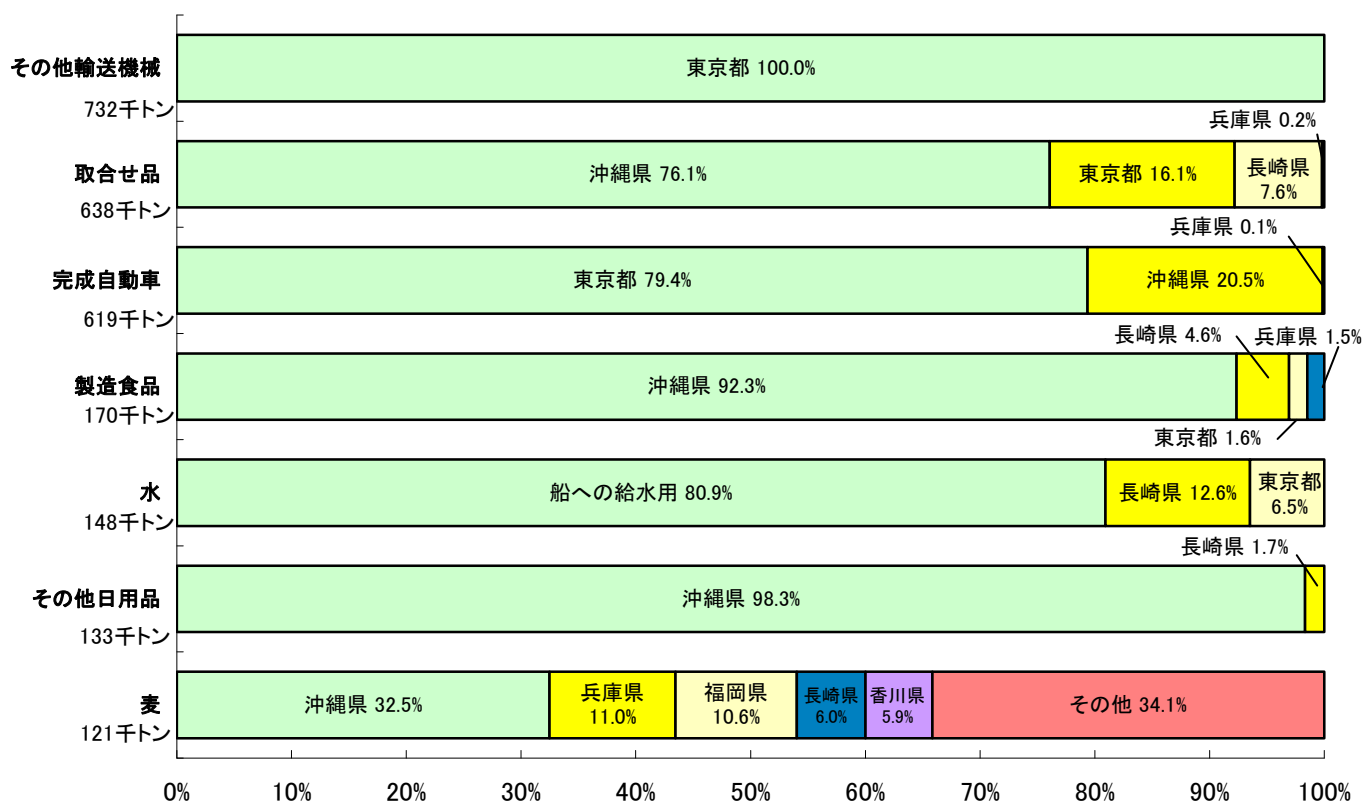


表-8 移出 品種別取扱量 (上位7品種)

(単位: トン)

順位	品 種	平成24年	構成比	平成23年	構成比	増減	前年比
1	その他輸送機械	731,710	19.4%	576,800	16.5%	154,910	126.9%
2	取合せ品	638,239	17.0%	636,145	18.1%	2,094	100.3%
3	完成自動車	618,826	16.4%	493,484	14.1%	125,342	125.4%
4	製造食品	169,986	4.5%	173,400	4.9%	▲ 3,414	98.0%
5	水	147,823	3.9%	134,261	3.8%	13,562	110.1%
6	その他日用品	133,392	3.5%	134,190	3.8%	▲ 798	99.4%
7	麦	120,853	3.2%	164,172	4.7%	▲ 43,319	73.6%
	上記以外その他	1,202,740	32.0%	1,193,798	34.0%	8,942	100.7%
	合 計	3,763,569	100.0%	3,506,250	100.0%	257,319	107.3%

図-10 移出上位7品種の相手都道府県



(3)主要都道府県別

移出相手都道府県別では、東京都が1,842千トン(構成比48.9%)、沖縄県が1,251千トン(同33.2%)、長崎県が157千トン(同4.2%)、以下兵庫県、福岡県内と続いている。(図-8、表-9参照)

表-9 移出 都道府県別取扱量(上位7都道府県)

(単位:トン)

順位	仕向都道府県名	平成24年	構成比	平成23年	構成比	増減	前年比
1	東京都	1,841,891	48.9%	1,539,953	43.9%	301,938	119.6%
2	沖縄県	1,250,537	33.2%	1,211,651	34.6%	38,886	103.2%
3	長崎県	157,401	4.2%	154,021	4.4%	3,380	102.2%
4	兵庫県	118,142	3.1%	118,491	3.4%	▲ 349	99.7%
5	福岡県	70,409	1.9%	105,846	3.0%	▲ 35,437	66.5%
6	鹿児島県	68,229	1.8%	77,992	2.2%	▲ 9,763	87.5%
7	大阪府	30,389	0.8%	34,353	1.0%	▲ 3,964	88.5%
	上記以外その他	226,571	6.0%	263,943	7.5%	▲ 37,372	85.8%
	合計	3,763,569	100.0%	3,506,250	100.0%	257,319	107.3%

2-2-2. 移入

(1)貨物量

移入貨物量は10,292千トン(前年比105.6%)であり、内国貿易の73.2%を占めている。

(表-2、図-8 参照)

(2)品種別

移入貨物量10,292千トンのうち「石油製品」が3,985千トン(構成比38.7%)、「完成自動車」が1,481千トン(同14.4%)、「砂利・砂」が1,124千トン(同10.9%)であった。(図-11・12、表-10 参照)

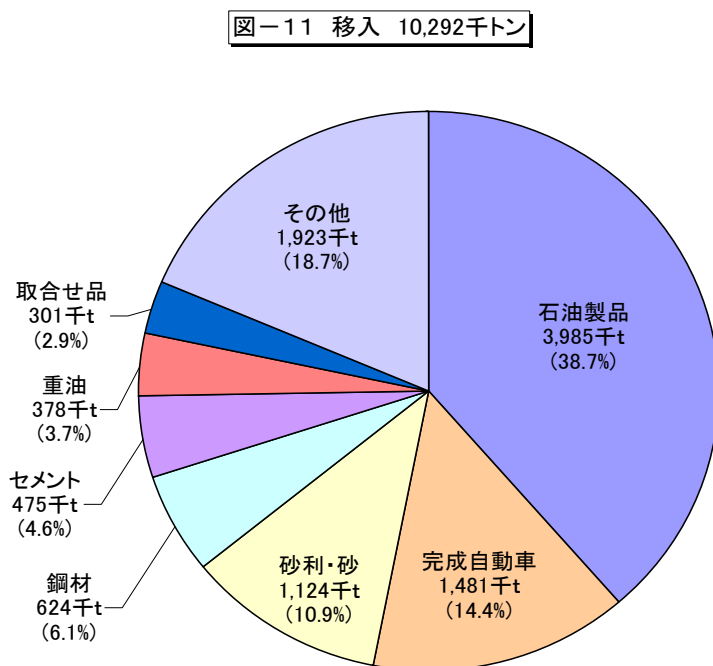
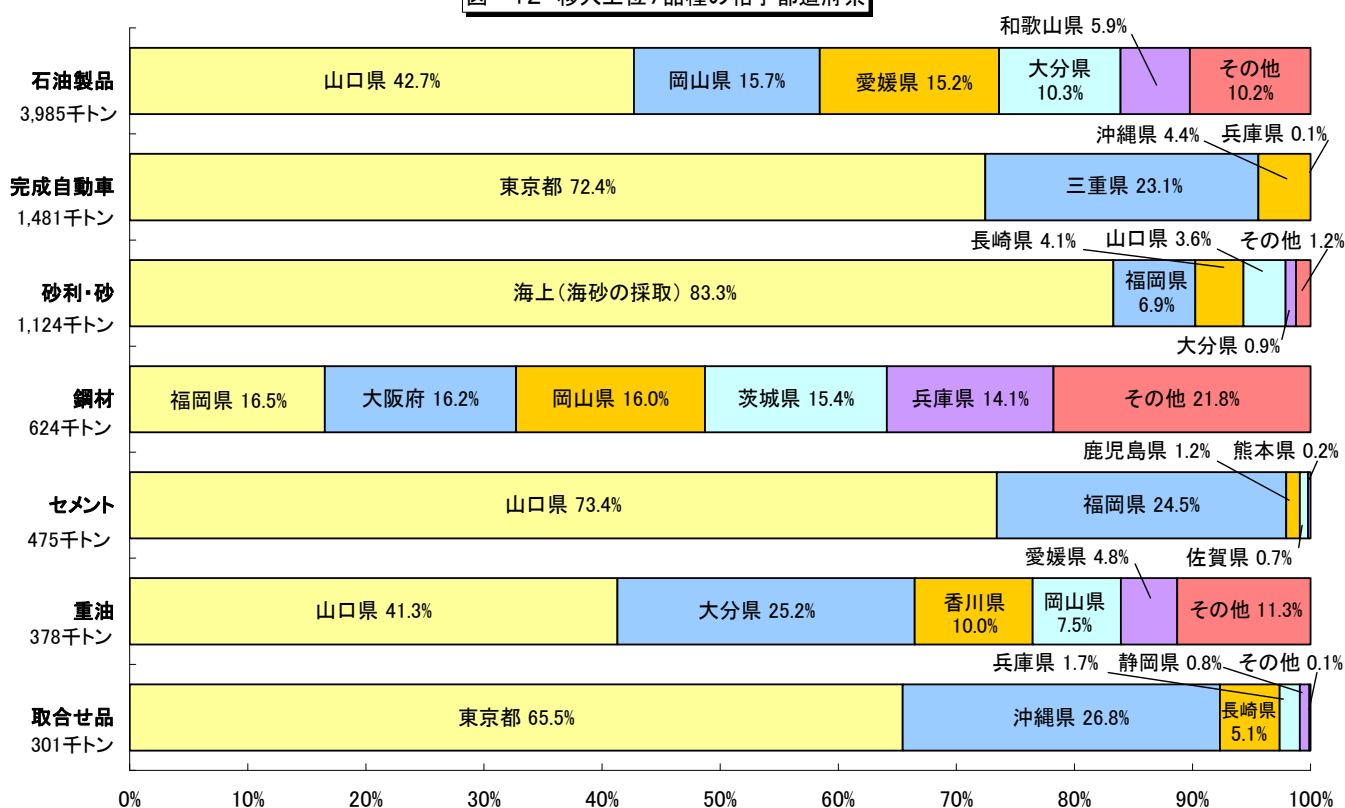


表-10 移入 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品 種	平成24年	構成比	平成23年	構成比	増減	前年比
1	石油製品	3,984,564	38.7%	3,973,709	40.8%	10,855	100.3%
2	完成自動車	1,481,447	14.4%	1,314,745	13.5%	166,702	112.7%
3	砂利・砂	1,124,195	10.9%	1,065,348	10.9%	58,847	105.5%
4	鋼材	624,294	6.1%	504,886	5.2%	119,408	123.7%
5	セメント	475,439	4.6%	449,279	4.6%	26,160	105.8%
6	重油	378,089	3.7%	398,890	4.1%	▲ 20,801	94.8%
7	取合せ品	301,087	2.9%	259,662	2.7%	41,425	116.0%
	上記以外その他	1,923,346	18.7%	1,776,550	18.2%	146,796	108.3%
	合 計	10,292,461	100.0%	9,743,069	100.0%	549,392	105.6%

図-12 移入上位7品種の相手都道府県



(3)主要都道府県別

移入相手都道府県別では、山口県が2,409千トン(構成比23.4%)、東京都が1,939千トン(同18.8%)、岡山県が791千トン(同7.7%)、以下愛媛県、大分県と続いている。(図-8、表-11参照)

表-11 移入 都道府県別取扱量 (上位7都道府県)

(単位: トン)

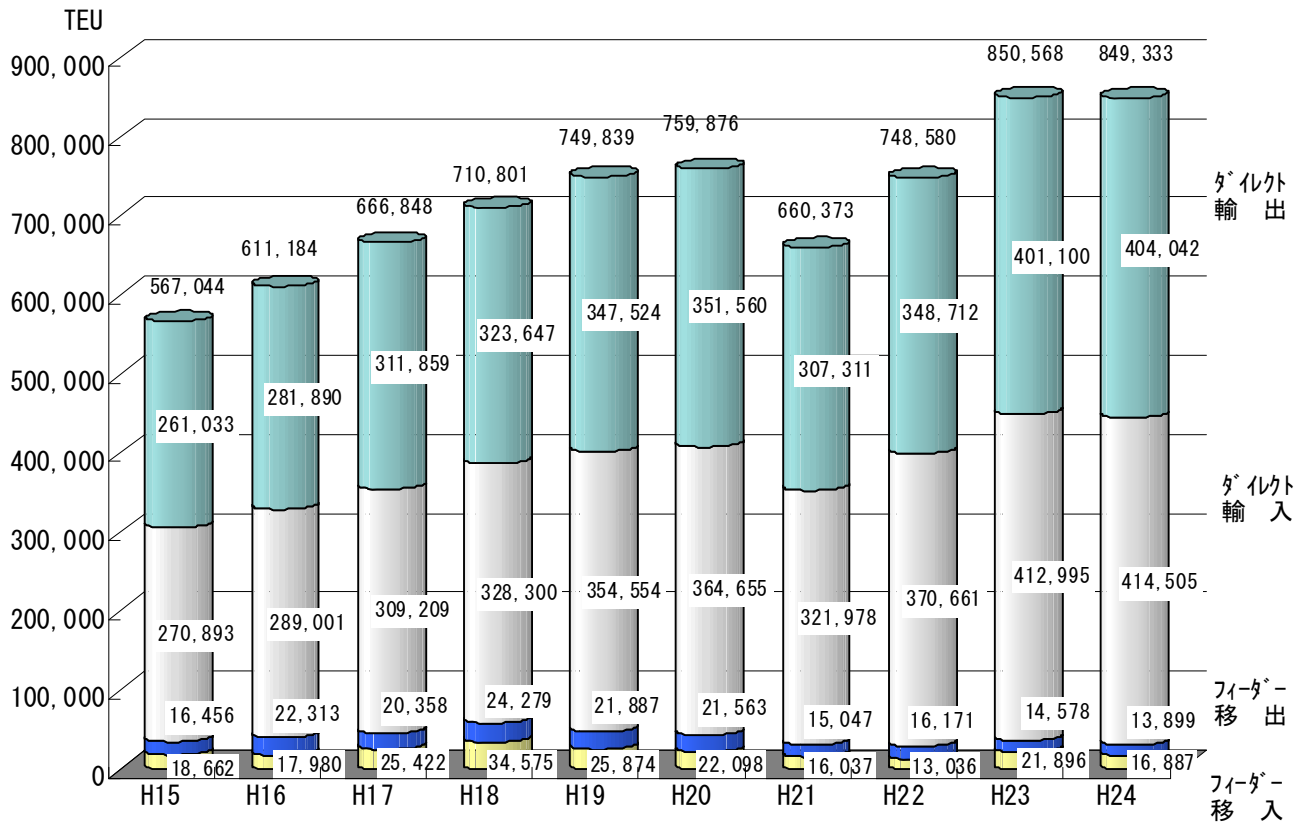
順位	仕出都道府県名	平成24年	構成比	平成23年	構成比	増減	前年比
1	山口県	2,409,066	23.4%	2,757,996	28.3%	▲ 348,930	87.3%
2	東京都	1,939,499	18.8%	1,619,275	16.6%	320,224	119.8%
3	岡山県	791,026	7.7%	850,468	8.7%	▲ 59,442	93.0%
4	愛媛県	694,516	6.7%	587,883	6.0%	106,633	118.1%
5	大分県	610,422	5.9%	509,670	5.2%	100,752	119.8%
6	三重県	455,709	4.4%	331,891	3.4%	123,818	137.3%
7	沖縄県	408,921	4.0%	318,448	3.3%	90,473	128.4%
	上記以外その他	2,983,302	29.0%	2,767,438	28.4%	215,864	107.8%
	合計	10,292,461	100.0%	9,743,069	100.0%	549,392	105.6%

3. 国際海上コンテナ取扱個数

国際海上コンテナ取扱個数は、849,333TEU(前年比 99.9%)であった。なお、ダイレクトコンテナは818,547TEU(同 100.5%)、フィーダーコンテナは30,786TEU(同 84.4%)であった。

〈図－13、表－12 参照〉

図－13 国際海上コンテナ取扱個数の推移



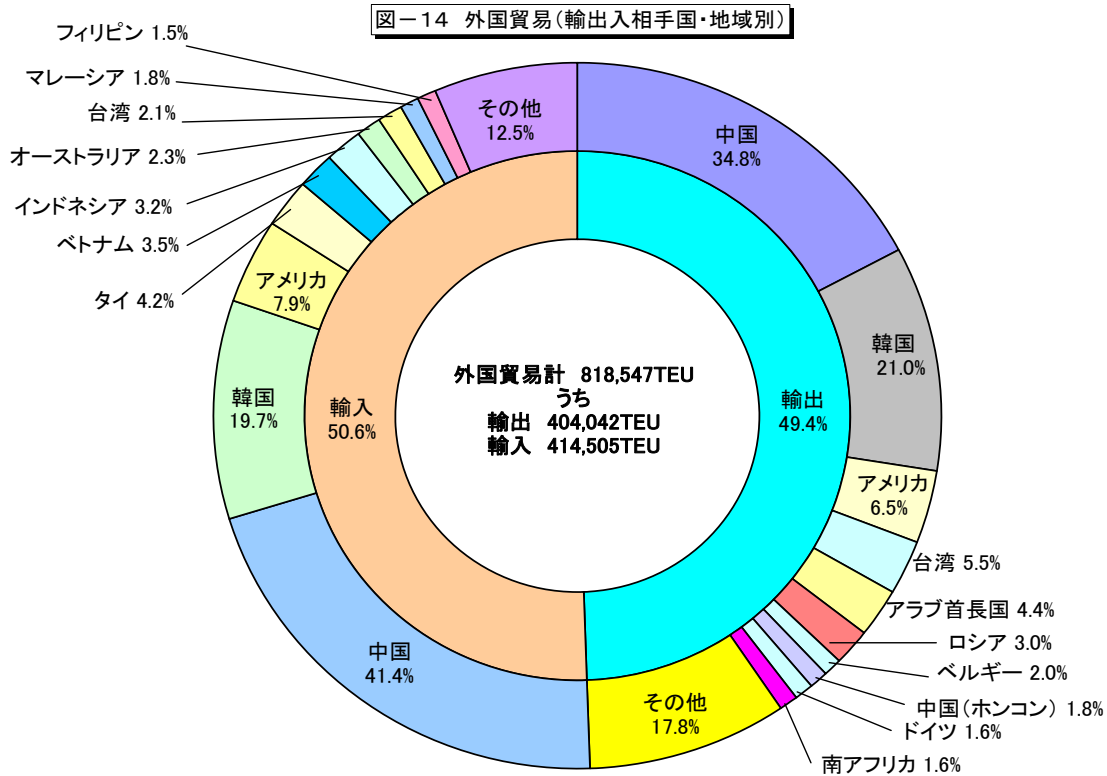
表－12 国際海上コンテナ取扱個数の推移

(単位: TEU)

区分		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
		数量	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
外国貿易 (ダイレクト)	輸出	351,560	307,311	87.4%	348,712	113.5%	401,100	115.0%	404,042	100.7%	
	輸入	364,655	321,978	88.3%	370,661	115.1%	412,995	111.4%	414,505	100.4%	
	計	716,215	629,289	87.9%	719,373	114.3%	814,094	113.2%	818,547	100.5%	
内国貿易 (フィーダー)	移出	21,563	15,047	69.8%	16,171	107.5%	14,578	90.1%	13,899	95.3%	
	移入	22,098	16,037	72.6%	13,036	81.3%	21,896	168.0%	16,887	77.1%	
	計	43,661	31,084	71.2%	29,207	94.0%	36,474	124.9%	30,786	84.4%	
総数	輸移出	373,123	322,358	86.4%	364,883	113.2%	415,678	113.9%	417,941	100.5%	
	輸移入	386,753	338,016	87.4%	383,697	113.5%	434,891	113.3%	431,392	99.2%	
	計	759,876	660,373	86.9%	748,580	113.4%	850,568	113.6%	849,333	99.9%	

※ 実入コンテナと空コンテナの合計値。

3-1. 外国貿易(ダイレクト)



3-1-1. 輸出

(1)コンテナ取扱個数

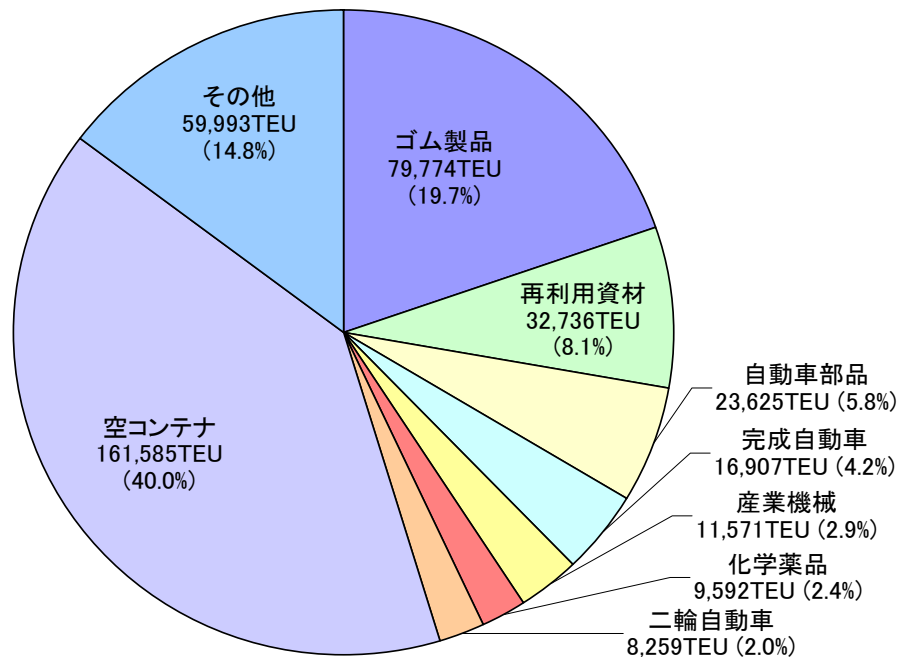
輸出コンテナ取扱個数は 404,042TEU(前年比 100.7%)であり、外国貿易の 49.4%を占めている。

〈図-14、表-12 参照〉

(2)品種別

輸出コンテナ取扱個数 404,042TEUのうち「ゴム製品」が 79,774TEU(構成比 19.7%)、「再利用資材」が 32,736TEU(同 8.1%)、「自動車部品」が 23,625TEU(同 5.8%)であった。〈図-15・16、表-13 参照〉

図-15 輸出 404,042TEU

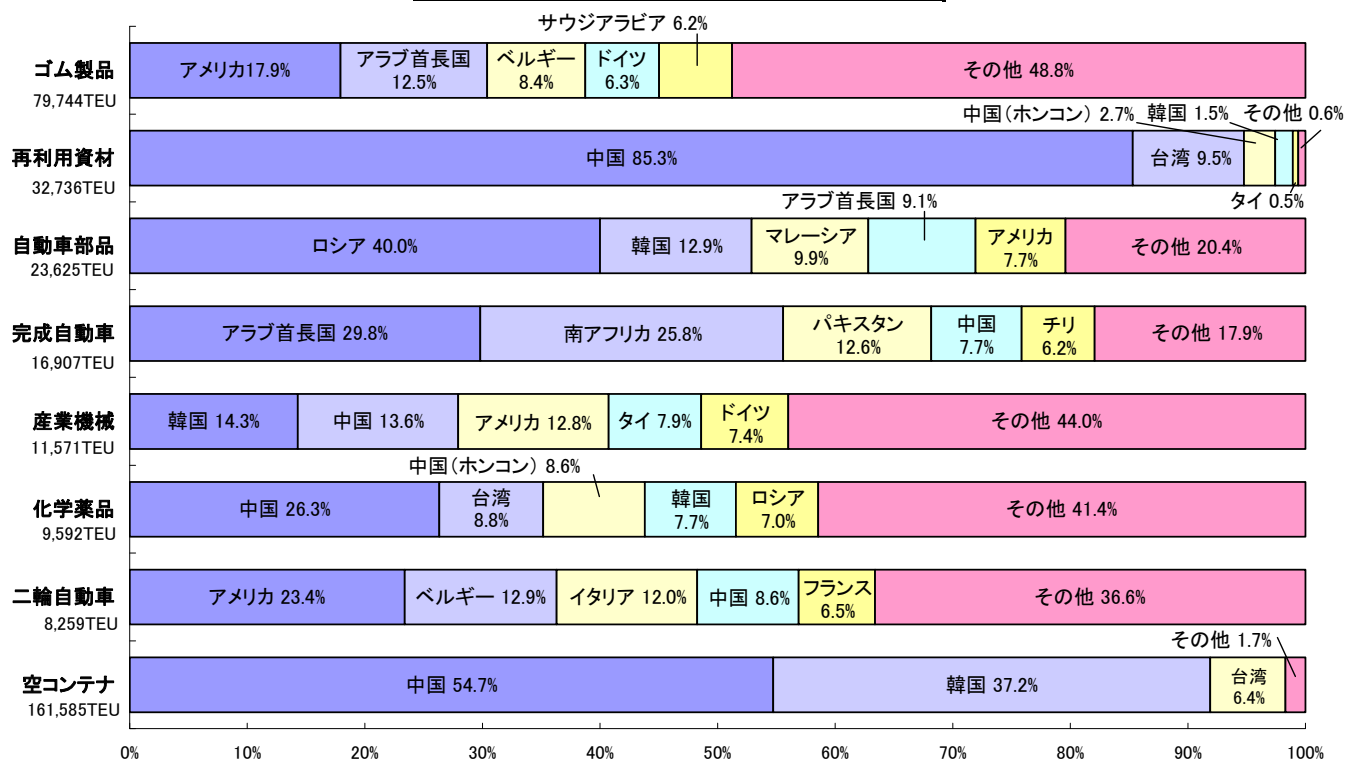


表－１３ 輸出 品種別コンテナ取扱個数（上位7品種及び空コンテナ）

（単位：TEU）

順位	品 種	平成24年	構成比	平成23年	構成比	同期増減	同期比
1	ゴム製品	79,774	19.7%	90,938	22.7%	▲ 11,164	87.7%
2	再利用資材	32,736	8.1%	30,112	7.5%	2,624	108.7%
3	自動車部品	23,625	5.8%	21,453	5.3%	2,172	110.1%
4	完成自動車	16,907	4.2%	14,125	3.5%	2,782	119.7%
5	産業機械	11,571	2.9%	14,071	3.5%	▲ 2,500	82.2%
6	化学薬品	9,592	2.4%	7,565	1.9%	2,027	126.8%
7	二輪自動車	8,259	2.0%	8,336	2.1%	▲ 78	99.1%
	空コンテナ	161,585	40.0%	157,198	39.2%	4,387	102.8%
	上記以外その他	59,993	14.8%	57,302	14.3%	2,691	104.7%
	合 計	404,042	100.0%	401,100	100.0%	2,942	100.7%

図－16 輸出上位7品種及び空コンテナの相手国・地域



(3)主要国・地域別

輸出相手国・地域別では、中国が140,524TEU(構成比 34.8%)、韓国が84,762TEU(同 21.0%)、アメリカが26,306TEU(同 6.5%)、以下台湾、アラブ首長国と続いている。(図－14、表－14 参照)

表－１４ 輸出国・地域別コンテナ取扱個数（上位10カ国・地域）

（単位：TEU）

順位	最終船卸国・地域名	平成24年	構成比	平成23年	構成比	増減	前年比
1	中国	140,524	34.8%	129,149	32.2%	11,375	108.8%
2	韓国	84,762	21.0%	83,003	20.7%	1,759	102.1%
3	アメリカ	26,306	6.5%	27,995	7.0%	▲ 1,689	94.0%
4	台湾	22,069	5.5%	21,753	5.4%	316	101.5%
5	アラブ首長国	17,676	4.4%	16,162	4.0%	1,514	109.4%
6	ロシア	12,222	3.0%	12,223	3.0%	▲ 1	100.0%
7	ベルギー	8,230	2.0%	9,606	2.4%	▲ 1,376	85.7%
8	中国（ホンコン）	7,320	1.8%	8,589	2.1%	▲ 1,269	85.2%
9	ドイツ	6,588	1.6%	9,792	2.4%	▲ 3,204	67.3%
10	南アフリカ	6,408	1.6%	6,396	1.6%	12	100.2%
	上記以外その他	71,937	17.8%	76,432	19.1%	▲ 4,495	94.1%
	合計	404,042	100.0%	401,100	100.0%	2,942	100.7%

3-1-2. 輸入

(1)コンテナ取扱個数

輸入コンテナ取扱個数は414,505TEU（前年比 100.4%）であり、外国貿易の 50.6%を占めている。

〈図－14、表－12 参照〉

(2)品種別

輸入コンテナ取扱個数 414,505TEU のうち「家具装備品」が 44,196TEU（構成比 10.7%）、「衣類・身廻品・はきもの」が 32,591TEU（同 7.9%）、「動植物性製造飼肥料」が 31,670TEU（同 7.6%）であった。

〈図－17、表－15 参照〉

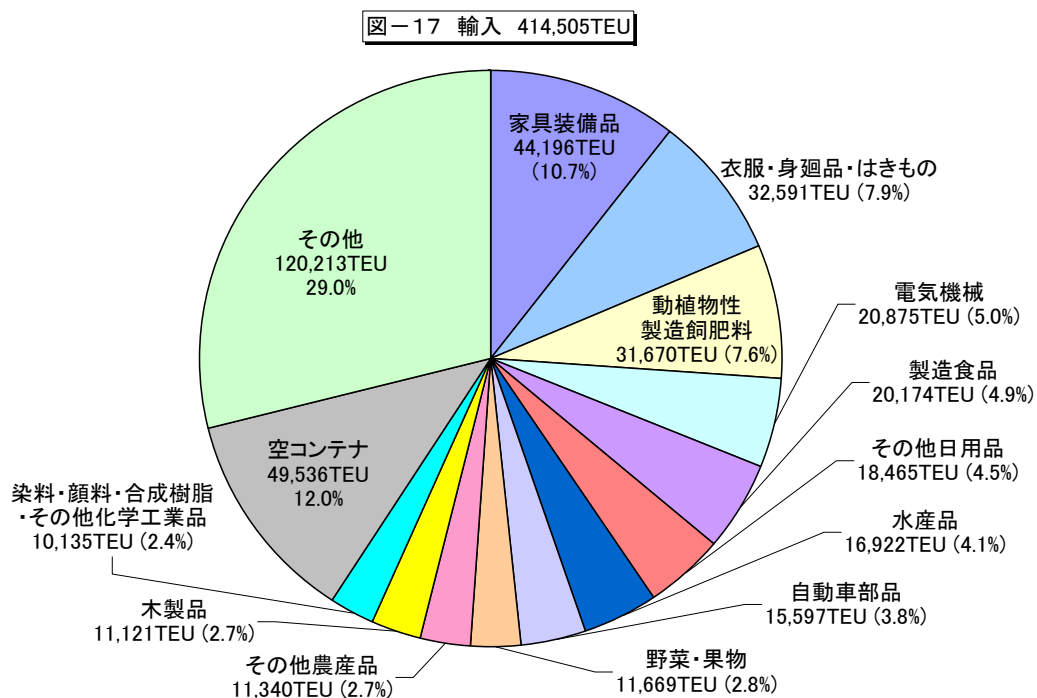
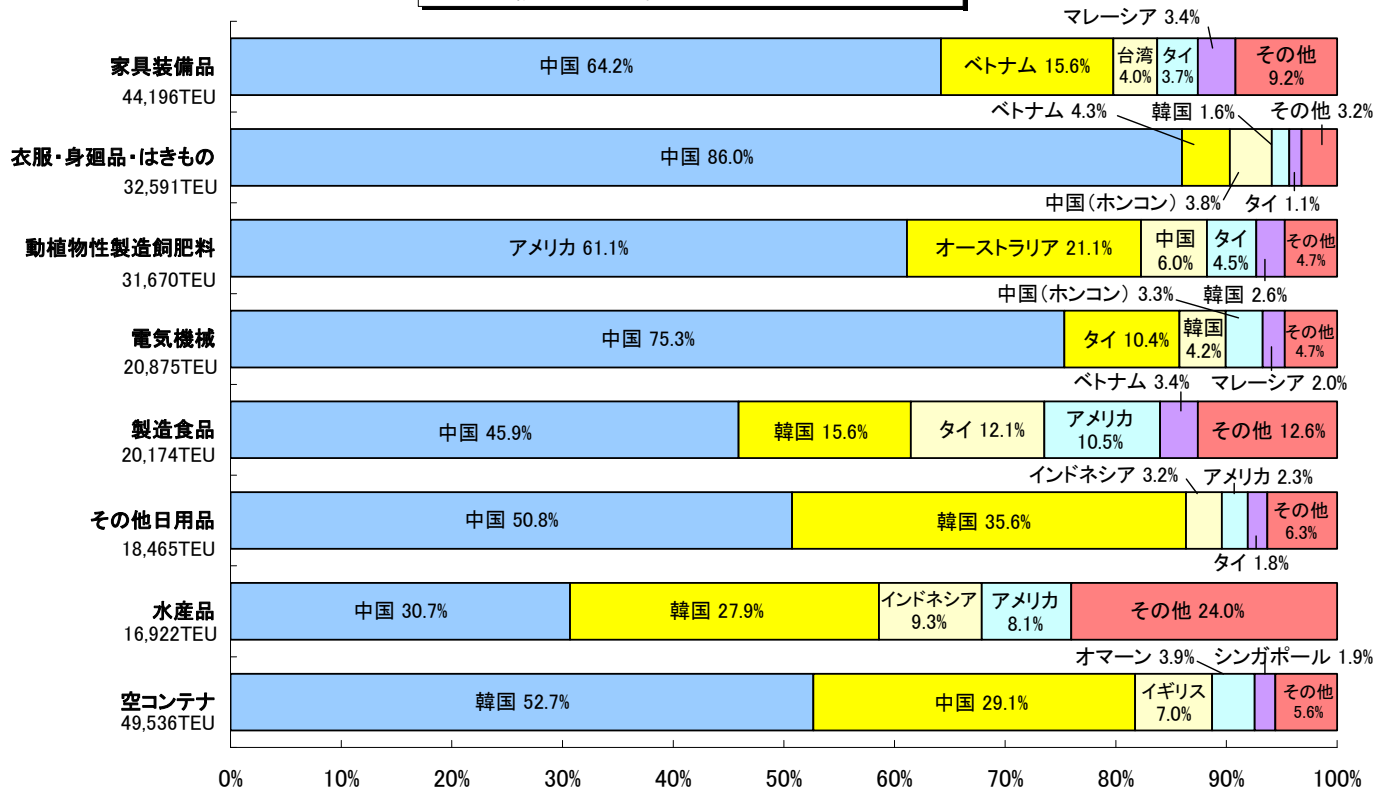


表-15 輸入 品種別コンテナ取扱個数（上位7品種及び空コンテナ）

（単位：TEU）

順位	品 種	平成24年	構成比	平成23年	構成比	増減	前年比
1	家具装備品	44,196	10.7%	46,065	11.2%	▲ 1,869	95.9%
2	衣服・身廻品・はきもの	32,591	7.9%	29,570	7.2%	▲ 3,021	110.2%
3	動植物性製造飼肥料	31,670	7.6%	36,300	8.8%	▲ 4,630	87.2%
4	電気機械	20,875	5.0%	20,141	4.9%	▲ 734	103.6%
5	製造食品	20,174	4.9%	19,154	4.6%	▲ 1,020	105.3%
6	その他日用品	18,465	4.5%	17,216	4.2%	▲ 1,249	107.3%
7	水産品	16,922	4.1%	18,155	4.4%	▲ 1,233	93.2%
	空コンテナ	49,536	12.0%	55,120	13.3%	▲ 5,584	89.9%
	上記以外その他	180,076	43.4%	171,274	41.5%	▲ 8,802	105.1%
	合 計	414,505	100.0%	412,995	100.0%	▲ 1,511	100.4%

図-18 輸入上位7品種及び空コンテナの相手国・地域



(3)主要国・地域別

輸入相手国・地域別では、中国が171,463TEU(構成比 41.4%)、韓国が81,741TEU(同 19.7%)、アメリカが32,573TEU(同 7.9%)、以下タイ、ベトナムと続いている。〈図-14、表-16 参照〉

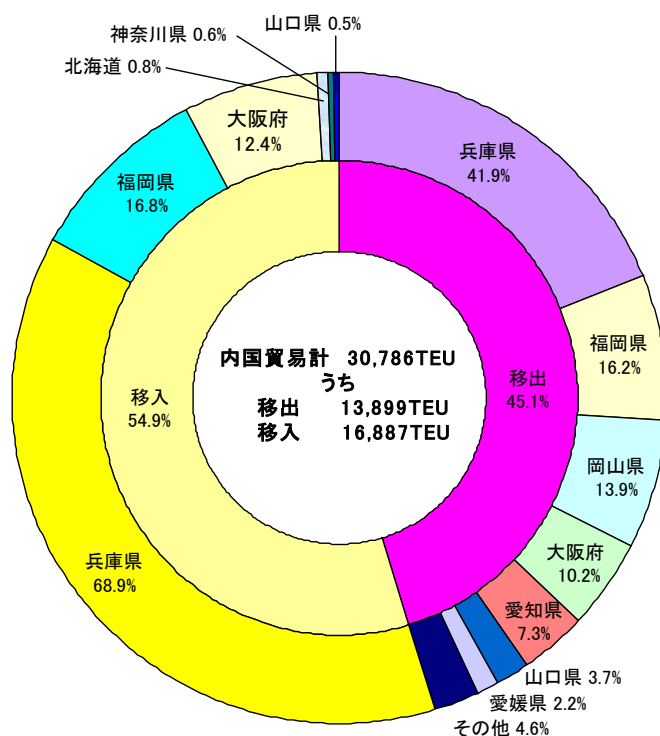
表－１６ 輸入 国・地域別コンテナ取扱個数（上位10ヵ国・地域）

（単位：TEU）

順位	最初船積国・地域名	平成24年	構成比	平成23年	構成比	増減	前年比
1	中国	171,463	41.4%	161,842	39.2%	9,621	105.9%
2	韓国	81,741	19.7%	74,954	18.1%	6,787	109.1%
3	アメリカ	32,573	7.9%	33,749	8.2%	▲ 1,176	96.5%
4	タイ	17,362	4.2%	18,285	4.4%	▲ 923	95.0%
5	ベトナム	14,465	3.5%	13,834	3.3%	631	104.6%
6	インドネシア	13,147	3.2%	12,979	3.1%	168	101.3%
7	オーストラリア	9,478	2.3%	10,481	2.5%	▲ 1,003	90.4%
8	台湾	8,576	2.1%	10,072	2.4%	▲ 1,496	85.1%
9	マレーシア	7,607	1.8%	7,991	1.9%	▲ 384	95.2%
10	フィリピン	6,397	1.5%	5,705	1.4%	692	112.1%
	上記以外その他	51,696	12.5%	63,103	15.3%	▲ 11,407	81.9%
	合計	414,505	100.0%	412,995	100.0%	1,511	100.4%

3-2. 内国貿易(フィーダー)

図－19 内国貿易(移出入相手都道府県別)



※ 図－19・21・23 及び表－18・20 については、仕出・仕向港都道府県に基づく集計である。

3-2-1. 移出

(1)コンテナ取扱個数

移出コンテナ取扱個数は13,899TEU(前年比 95.3%)であり、内国貿易の45.1%を占めている。

〈表-12、図-19 参照〉

(2)品種別

移出コンテナ取扱個数 13,899TEU のうち「ゴム製品」が 1,592TEU(構成比 11.5%)、「自動車部品」が 1,513TEU(同 10.9%)、「二輪自動車」が 443TEU(同 3.2%)であった。〈図-20・21、表-17 参照〉

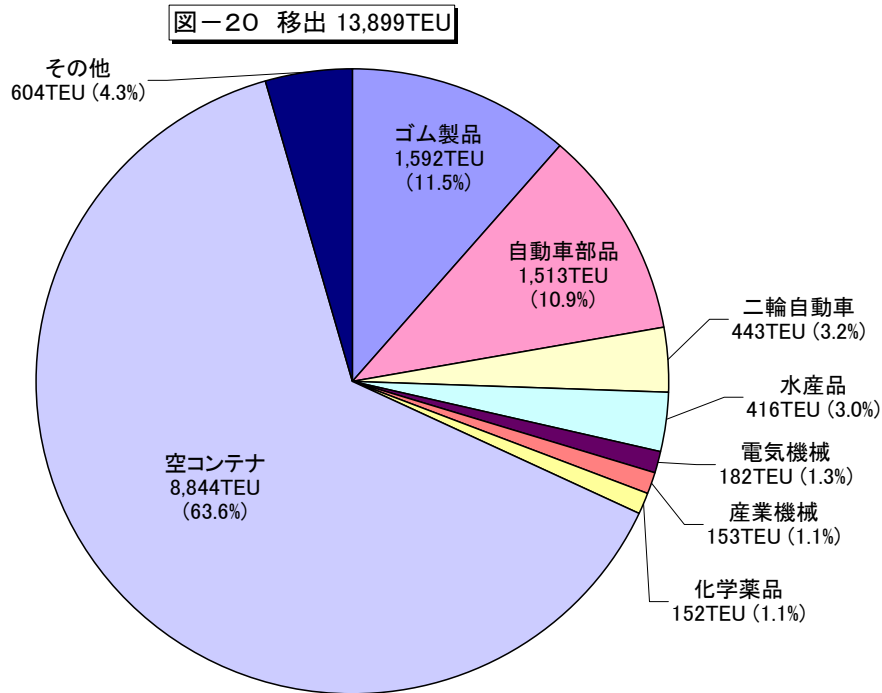
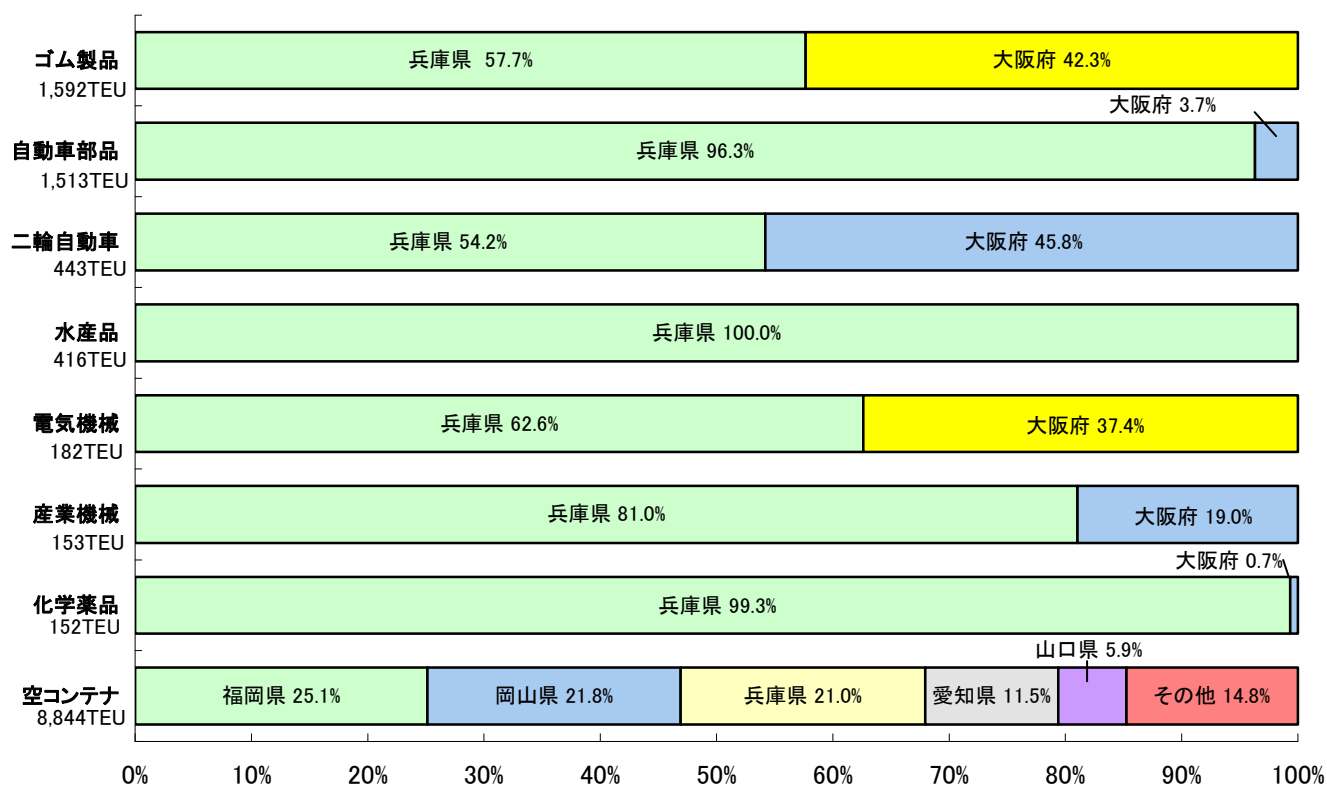


表-17 移出 品種別コンテナ取扱個数 (上位7品種及び空コンテナ)

(単位: TEU)

順位	品 種	平成24年	構成比	平成23年	構成比	増減	前年比
1	ゴム製品	1,592	11.5%	1,077	7.4%	515	147.8%
2	自動車部品	1,513	10.9%	1,723	11.8%	▲ 210	87.8%
3	二輪自動車	443	3.2%	512	3.5%	▲ 69	86.5%
4	水産品	416	3.0%	228	1.6%	188	182.5%
5	電気機械	182	1.3%	265	1.8%	▲ 83	68.7%
6	産業機械	153	1.1%	119	0.8%	34	128.6%
7	化学薬品	152	1.1%	142	1.0%	10	107.0%
	空コンテナ	8,844	63.6%	9,214	63.2%	▲ 370	96.0%
	上記以外その他	604	4.3%	1,298	8.9%	▲ 694	46.5%
	合 計	13,899	100.0%	14,578	100.0%	▲ 679	95.3%

図-21 移出上位7品種及び空コンテナの相手都道府県



(3)主要都道府県別

移出相手都道府県別では、兵庫県が 5,819TEU(構成比 41.9%)、福岡県が 2,250TEU(同 16.2%)、岡山県が 1,926TEU(同 13.9%)、以下大阪府、愛知県と続いている。(図-19、表-18 参照)

表-18 移出 都道府県別コンテナ取扱個数(上位7都道府県)

(単位: TEU)

順位	仕向都道府県名	平成24年	構成比	平成23年	構成比	増減	前年比
1	兵庫県	5,819	41.9%	7,409	50.8%	▲ 1,590	78.5%
2	福岡県	2,250	16.2%	1,624	11.1%	626	138.5%
3	岡山県	1,926	13.9%	2,084	14.3%	▲ 158	92.4%
4	大阪府	1,418	10.2%	1,401	9.6%	17	101.2%
5	愛知県	1,013	7.3%	720	4.9%	293	140.7%
6	山口県	518	3.7%	765	5.2%	▲ 247	67.7%
7	愛媛県	310	2.2%	0	0.0%	310	—
	上記以外その他	645	4.6%	575	3.9%	70	112.2%
	合計	13,899	100.0%	14,578	100.0%	▲ 679	95.3%

3-2-2. 移入

(1)コンテナ取扱個数

移入コンテナ取扱個数は16,887TEU(前年比77.1%)であり、内国貿易の54.9%を占めている。

〈表-12、図-19 参照〉

(2)品種別

移入コンテナ取扱個数16,887TEUのうち「ゴム製品」が2,835TEU(構成比16.8%)、「動植物性製造飼肥料」が1,357TEU(同8.0%)、「自動車部品」が885TEU(同5.2%)であった。〈図-22・23、表-19 参照〉

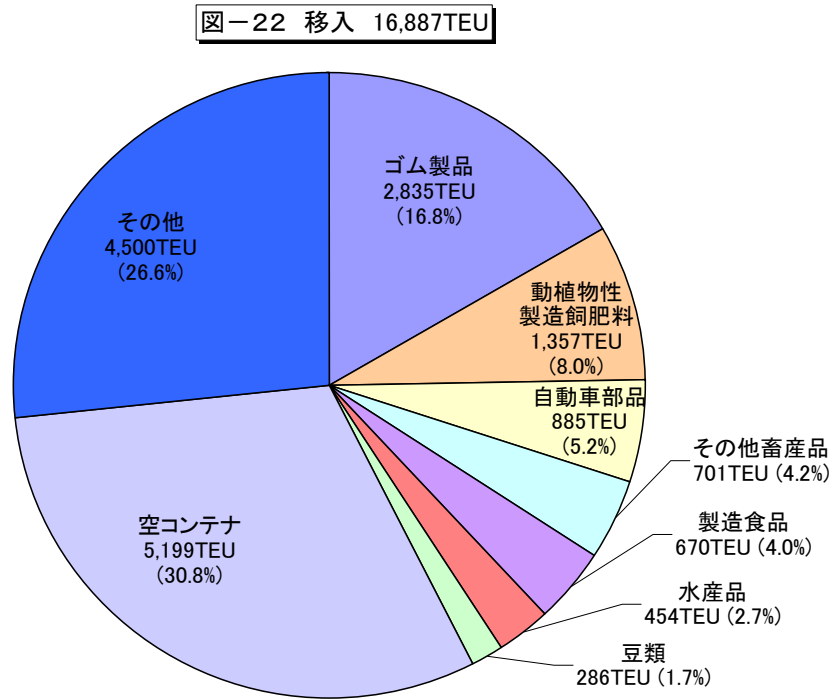
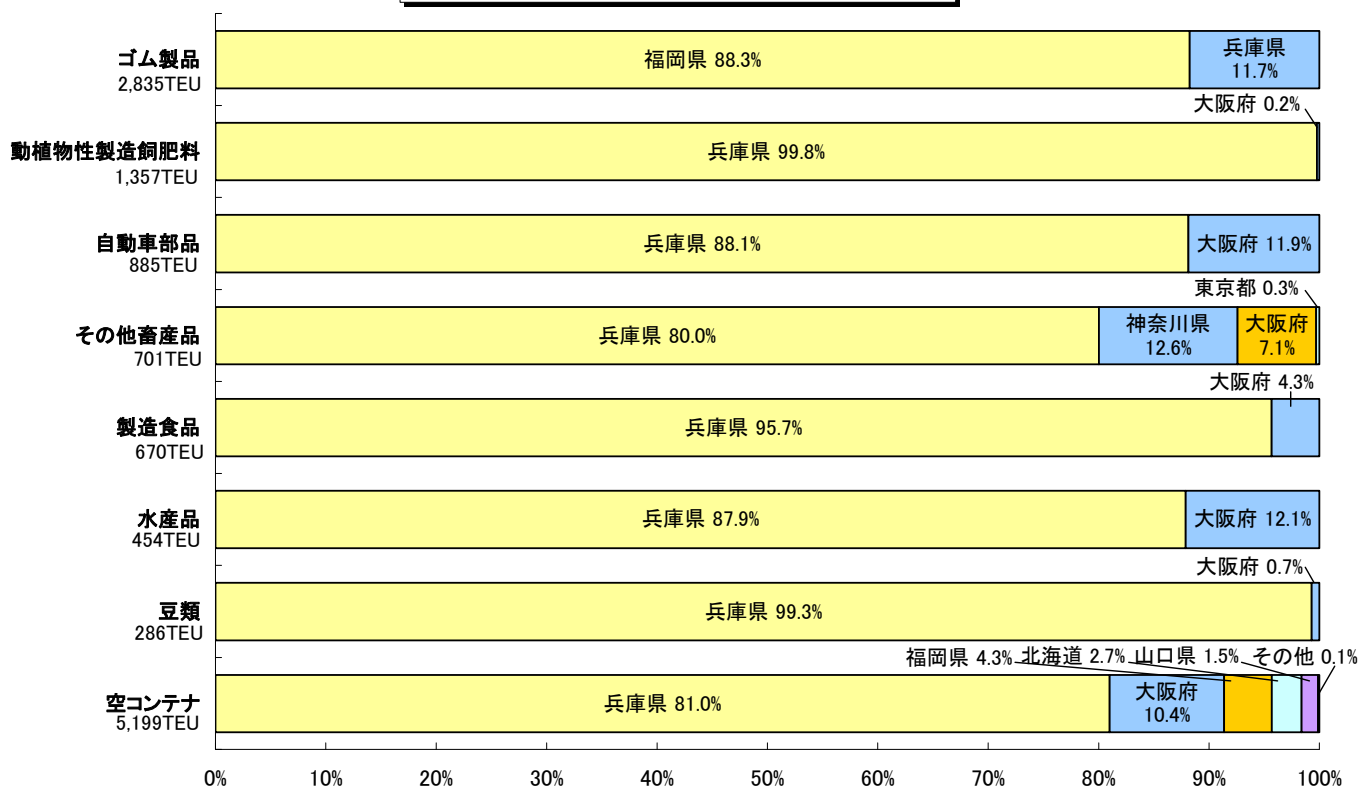


表-19 移入 品種別コンテナ取扱個数 (上位7品種及び空コンテナ)

(単位: TEU)

順位	品 種	平成24年	構成比	平成23年	構成比	増減	前年比
1	ゴム製品	2,835	16.8%	2,217	10.1%	618	127.9%
2	動植物性製造飼肥料	1,357	8.0%	530	2.4%	827	256.0%
3	自動車部品	885	5.2%	362	1.7%	523	244.5%
4	その他畜産品	701	4.2%	567	2.6%	134	123.6%
5	製造食品	670	4.0%	1,010	4.6%	▲ 340	66.3%
6	水産品	454	2.7%	254	1.2%	200	178.7%
7	豆類	286	1.7%	155	0.7%	131	184.5%
	空コンテナ	5,199	30.8%	13,086	59.8%	▲ 7,887	39.7%
	上記以外その他	4,500	26.6%	3,715	17.0%	785	121.1%
	合 計	16,887	100.0%	21,896	100.0%	▲ 5,009	77.1%

図-23 移入上位7品種及び空コンテナの相手都道府県



(3)主要都道府県別

移入相手都道府県別では、兵庫県が11,636TEU(構成比68.9%)、福岡県が2,837TEU(同16.8%)、大阪府が2,096TEU(同12.4%)、以下北海道、神奈川県と続いている。(図-19、表-20参照)

表-20 移入 都道府県別コンテナ取扱個数(上位7都道府県)

(単位: TEU)

順位	仕出都道府県名	平成24年	構成比	平成23年	構成比	増減	前年比
1	兵庫県	11,636	68.9%	14,258	65.1%	▲ 2,622	81.6%
2	福岡県	2,837	16.8%	2,499	11.4%	▲ 338	113.5%
3	大阪府	2,096	12.4%	3,783	17.3%	▲ 1,687	55.4%
4	北海道	140	0.8%	520	2.4%	▲ 380	26.9%
5	神奈川県	98	0.6%	100	0.5%	▲ 2	98.0%
6	山口県	78	0.5%	0	0.0%	▲ 78	—
7	東京都	2	0.0%	230	1.1%	▲ 228	0.9%
	上記以外その他	0	0.0%	506	2.3%	▲ 506	0.0%
	合計	16,887	100.0%	21,896	100.0%	▲ 5,009	77.1%

4. 国内海上コンテナ取扱個数

国内海上コンテナ取扱個数は 57,646TEU(前年比 101.6%)であった。なお、移出コンテナが 33,504TEU(同 99.8%)、移入コンテナが 24,142TEU(同 104.0%)であった。

〈図-24、表-21 参照〉

図-24 国内海上コンテナ取扱個数の推移

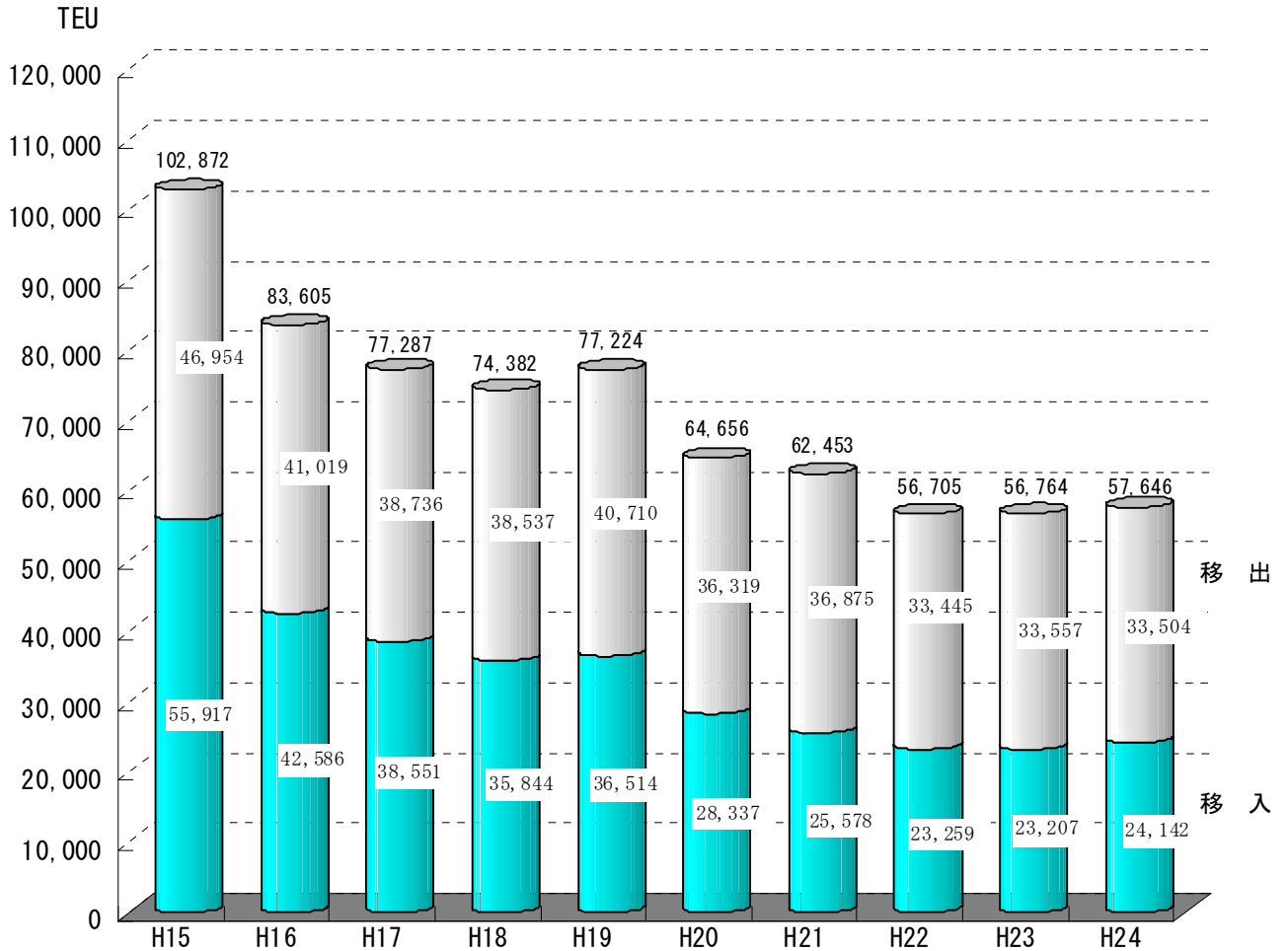


表-21 国内海上コンテナ取扱個数の推移

(単位: TEU)

区分		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
内国貿易	移出	36,319	101.5%	36,875	101.5%	33,445	90.7%	33,445	90.7%	33,557	100.3%
	移入	28,337	90.3%	25,578	90.3%	23,259	90.9%	23,259	90.9%	23,207	99.8%
	計	64,656	96.6%	62,453	96.6%	56,705	90.8%	56,705	90.8%	56,764	100.1%

※ 実入コンテナと空コンテナの合計値。

5. 船舶乗降人員

船舶乗降人員は、外国航路が84.6万人(前年比127.3%)、内国航路は111.6万人(同102.5%)となり、外内航あわせて196.2万人(同111.9%)であった。(図-25、表-22参照)

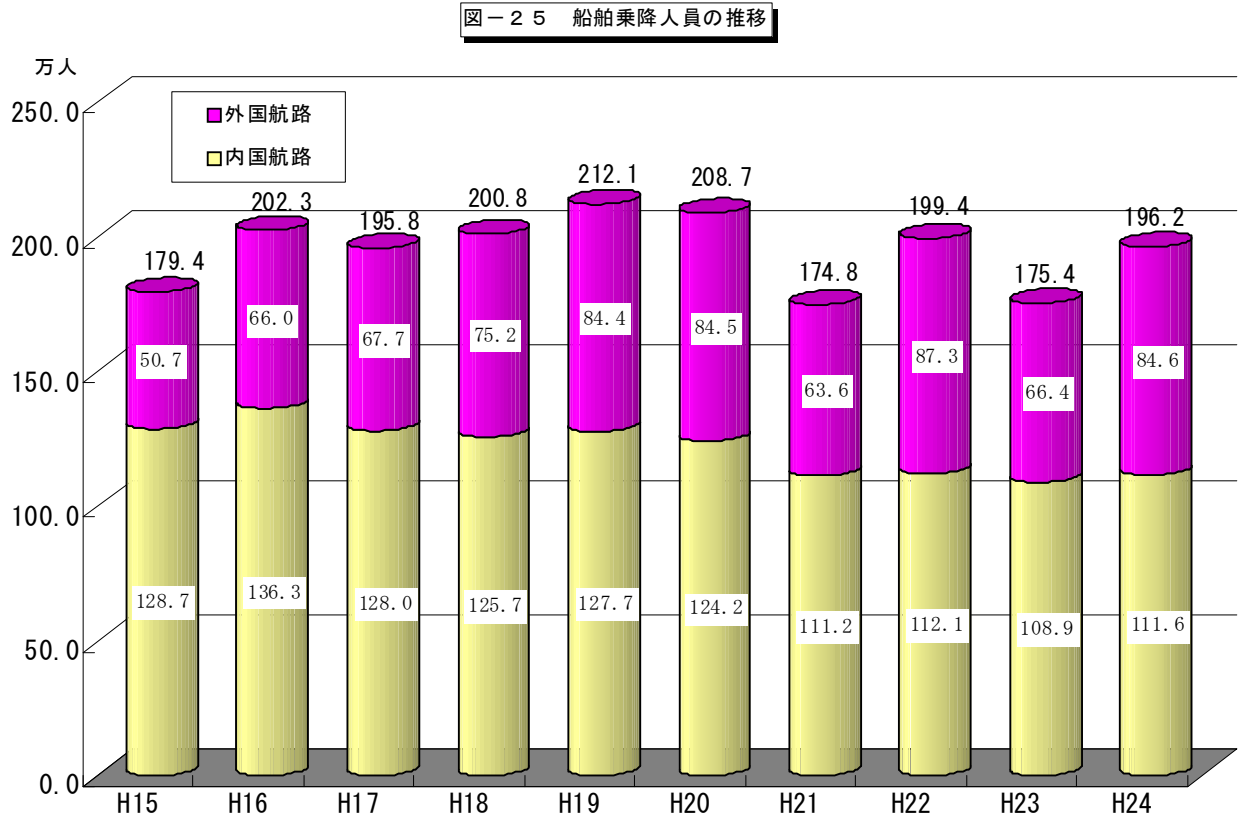


表-22 船舶乗降人員の推移

(単位：人)

区分		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
		人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比
外国航路	乗込人員	423,957	75.0%	317,794	75.0%	437,139	137.6%	334,846	76.6%	421,370	125.8%
	上陸人員	421,274	75.6%	318,475	75.6%	435,753	136.8%	329,582	75.6%	424,210	128.7%
	計	845,231	75.3%	636,269	75.3%	872,892	137.2%	664,428	76.1%	845,580	127.3%
内国航路	乗込人員	640,823	89.3%	572,308	89.3%	577,151	100.8%	560,027	97.0%	574,297	102.5%
	上陸人員	601,077	89.8%	539,468	89.8%	544,097	100.9%	529,151	97.3%	541,840	102.4%
	計	1,241,900	89.5%	1,111,776	89.5%	1,121,248	100.9%	1,089,178	97.1%	1,116,137	102.5%
総計	乗込人員	1,064,780	83.6%	890,102	83.6%	1,014,290	114.0%	894,873	88.2%	995,667	111.3%
	上陸人員	1,022,351	83.9%	857,943	83.9%	979,850	114.2%	858,733	87.6%	966,050	112.5%
	計	2,087,131	83.8%	1,748,045	83.8%	1,994,140	114.1%	1,753,606	87.9%	1,961,717	111.9%

